

(案)

平成 年 月 日

和光市長 野木 実 様

和光市男女共同参画推進審議会会長 諸橋 泰樹

平成 18 年度和光市男女共同参画推進審議会報告について

平成 18 年度和光市男女共同参画推進審議会において審議した結果について、下記のとおり報告いたします。

つきましては、平成 19 年度施策の推進に当たっては、本審議内容及び意見を反映し、より一層、男女共同参画施策の推進を図られますようお願いいたします。

記

- 1 平成 18 年度和光市男女共同参画推進審議会
 - (1) 第 1 回 平成 18 年 10 月 13 日(金) 午後 2 時から 4 時
 - (2) 第 2 回 平成 18 年 12 月 15 日(金) 午前 10 時から正午
 - (3) 第 3 回 平成 19 年 2 月 16 日(金) 午前 10 時から正午
- 2 委員名簿
別紙 1 のとおり
- 3 審議内容及び意見
別紙 2 のとおり
- 4 資料
和光市男女共同参画年次報告書(平成 17 年度版)

和光市男女共同参画推進審議会委員名簿

平成19年2月16日現在

NO	氏名(各五十音順)	備考
1	知識経験を有する者	小林 正子
		国立保健医療科学院
2	◎諸橋 泰樹	フェリス女学院大学
3	関係団体を代表する者	木戸 晶子
		NPO法人 わこう子育てネットワーク
		柴田 順子
		和光市立小・中学校校長会
4	○細尾 恭子	ジェンダー・アイ和光
5		
6	渡井 悦子	和光市ボランティア連絡会
7	事業者	塚田 一男
		和光市商工会
8	木下 清一	株式会社 レインボーモータースクール
9	石川 弥	独立行政法人 理化学研究所
10	公募による市民	五十嵐裕子
		公募
11	根岸 彩子	公募
12	芳川 真丈	公募

※◎会長、○副会長

平成 18 年度和光市男女共同参画推進審議会審議内容及び意見

1 平成 17 年度男女共同参画わこうプラン施策評価調査結果について

(1) 評価 4 を選択している課等について

各施策を見ると、他課等では、平成 16 年度において評価 4 を選択し、平成 17 年度においても評価 4 を選択している課等がある。今回、改善が見られなかった課等においては、もう少し、改善できるよう努力してほしい。

例えば、公民館の施策に対するコメントでは、他課と検討していきたいというものが多。男女共に利用する施設として、他課との検討のみならず、独自にまた積極的に男女共同参画に関連する施策を進めてほしい。たとえ、施策自体に男女共同参画とうたわなくても、たくさんの方が男女共同参画に関連している。タイトルが違ってそういった視点を入れていくことはできるため、そういった面からもう少し工夫し、検討を進めてほしい。

また、地域振興課においても、「極めて重要であると認識しているが、特に行っていない」というコメントが多い。重要と認めているのに、施策を実施していないのは、非常に残念である。もっときめ細かな施策を進めてほしい。

(2) フォーラム・講座の開催について

フォーラム・講座に人が集まらない傾向にあっても、男女共同参画・男女平等には、啓発が一番必要である。そのため、フォーラムや講座など地道な啓発活動については、ニーズやライフスタイルを把握した上で内容を工夫し、継続的に実施していく必要がある。

(3) 職員の意識、スタンスについて

全体的に職員の意識、スタンスが不足しているように見受けられる。職員全体の意識が高まることにより、施策の実施効果も高まっていくため、職員の意識啓発を継続的に実施し、各職員がダイナミックかつ総合的に施策を進められるようにする必要がある。

2 平成 18 年度男女共同参画わこうプラン【改訂版】施策評価調査票案について
別紙 3 のとおり

(1) 施策の内容の具体化について

平成 17 年度版は、何の施策でどういったことをしていたのかなど、調査結果から具体的な内容が見えない。今後、施策達成を図るために、何をどんな風を実施していくのかを評価調査票に記入し、施策の内容を明確にわかるようにする必要がある。

(2) 評価 3 を選択した理由について

平成 17 年度版は、評価 4 を選択した理由のみ記載することとなっている。評価 1・2 に比べ、評価 3・4 は、施策が取り組めなかった結果となるため、評価 4 のみならず、評価 3 についても、なぜ実施できなかったのかなど、理由を書けるスペースを設ける必要がある。

(3) 各課等とのヒアリングについて

平成 18 年度に調査を実施するに当たっては、統括課である人権文化課と各課等とのヒアリングを実施し、男女共同参画わこうプラン【改訂版】の指標達成に向けて、検討を進める必要がある。